

上りのSSに苦しみながらもクラス4位で完走

2019年全日本ラリー選手権第4戦 Sammy 久万高原ラリー

日頃はプレイドライブ全日本ラリー選手権参戦プロジェクトに多大なるご理解とご協賛をいただきまして、誠にありがとうございます。

「PD YH ノート e-POWER ニスモ S」は、5月3日（金・祝）～5日（日・祝）に愛媛県久万高原町周辺で開催された2019年全日本ラリー選手権第4戦「Sammy 久万高原ラリー」に参戦いたしました。

昨年はグラベルで開催された久万高原ラリーですが、今季は2年ぶりにターマックで行われました。ステージのほとんどが標高1000mを超える高地に設定され、勾配の激しさが大きな課題のひとつとなります。今年から日産ノート e-POWER NISMO Sにスイッチし、2戦目を迎えた伊藤隆晃／大高徹也組は、競技初日となる



4日（土・祝）に上りのステージで苦戦を強いられることとなりました。比較的フラットなステージのSS1ではクラス3番手のタイムをマークする好発進を見せましたが、上りのセクションが続くSS2ではバッテリーの消耗が激しく、セーブモードに入ってしまう現象に対処することになり、この日はJN6クラス5番手で折り返します。翌5日（日・祝）もバッテリー面での課題は続きましたが、その分を足回りのセッティングを改良することでカバー。回生ブレーキを効率的に活用するドライビングを模索しながら、順位を4位まで上げてフィニッシュを果たしました。

ドライバー 伊藤隆晃のコメント

「バッテリーの問題は悩みどころですが、ターマックでの足回りに関しては安心感を持って走れるようになりました。たった2戦の中で、かなり熟成されたと思っています。次はグラベルなので、まずはセッティングですね。ゼロからまた頑張ります」

JN6クラス リザルト

順位	ドライバー	コ・ドライバー	車両名	タイム／差
1	大倉 聡	豊田 耕司	アイシン AW Vitz CVT	1:36:59.6
2	板倉 麻美	梅本 まどか	DL WPMS Vitz CVT	+3:06.3
3	中西 昌人	福井 林賢	YH・WM・KYB・SPM・くまモン・8	+6:45.9
4	伊藤 隆晃	大高 徹也	PD YH ノート e-POWER ニスモ S	+7:10.5
5	クロエリ	加勢 直毅	CUSCO YH DAIWA FIT	+10:07.6
6	水原 亜利沙	中村 理紗	CUSCO DL CAR トップ NOTE	+14:00.1
R	いとう りな	大西 紗智	YH ブリッド AW オクヤマ VITZ	

参加台数7台、出走7台、完走6台

プレイドライブ

メカニックとして参加した 日産自動車大学の学生たち

日産愛媛自動車大学校より4名の学生が参加し、ラリーサービスを体験しました。3日間にわたり、限られた時間のなかでラリーカーの整備や経験を積みました。



須浪大和さん 自動車工学科4年

「3回目の参加ですが、毎回、印象に残る作業があって刺激を受けてきました。自分の成長にもつながります。今回、3回目の参加は自分だけだったので、周りに気を配ることを心がけました。プロのメカニックの方もそうですが、しっかり観察することが重要だと思いました。観たり、触れたりすることで、何かトラブルが起きていることが分かります。これは日々の作業にも生きてくるはずですが、プロの方が、限られた時間の中ですごく大きな修理を完了していることに驚きました。来年は就職しますが、限られた時間の中で、どの整備が一番にすべきなのか、判断力の大切さを得られたと思っています」



田邊徹さん 自動車工学科3年

「昨年の久万高原に続き、2回目の参加になりました。1回経験していたので、どんなことをやるのかを分かっていたので、正直、気は楽になりました。前回と同じくブレーキのエア抜きをやりましたが、緊張せずに行うことができたので、前回よりはスムーズだったと思います。周りもよく見ることができ、自分の担当以外の作業もサポートすることができました。あらためて、動きの面で自分の成長を感じることができました。前はグラベルラリーだったので泥かきがすごく大変でしたが、今回はそれがなかったので、他の作業にも目を配ることができました。タイヤの外し方でも、基礎がすごく重要だとあらためて感じました。来年も絶対に参加します。またラリーに戻ってきたいです」



稲荷祐司さん 自動車工学科2年

「昨年の久万高原ラリーに観戦に来て、先輩が実際にラリーに触れて作業している姿を見て、楽しそうだと思い参加を決めました。印象に残っているのはフロント足回りの調整をしたことです。回す角度にも気を配り、すごく難しく感じました。学校で学んできたことは役立つ知識もありましたが、全く違う経験ができました。プロのメカニックの方がフロントブレーキのディスクを外して磨いていましたが、市販車の作業ではないことなので、驚きました。練習もしてきましたが、実際の作業では焦ってしまいましたし、限られた時間での作業は緊張しました。また、来年も参加したいです」



鳥井証志さん 自動車工学科2年

「1年生の時に久万高原ラリーの話聞いて興味を持ち、参加を担任の先生に相談、2年生になって実現しました。1年生でスーパー耐久の活動に参加しましたが、ラリーは実際にクルマに触れることが多く、本当に楽しかったです。一番印象に残っているのは、ブレーキオイルのエア抜きです。舗装ラリーではすごく大事な作業ですが、みんなで協力して作業ができました。トルク締めの際にトルクを設定していなくて、ミスをしてしまいました。プロのメカニックの皆さんは、すべての作業スピードがありますし、正確です。15分のサービス時間は、やることを決めて、きっちりやりきることを心がけました」

次戦は、6月6日（木）～9日（日）に群馬県嬬恋村周辺で開催される第5戦「MONTRE 2019」（グラベル）です。引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。